

■道路橋梁維持修繕料

200万円

これまでの長雨により、町道荷稻鈴線の崩土撤去、支障木伐採などに、200万円は支出をしているが、更に200万円を追加し、維持管理および台風等に備えるもの

■緊急輸送道路等沿道建築物

耐震事業補助金

2625万円

国道56号線沿いの建築物で、県が調査を行った27件の建築物の耐震診断を行うための補助金

■幡多広域観光協議会負担金

606万円

幡多地域への観光客の誘致活動、情報発信、スポーツツーリズムへの体制の強化など、総事業費約7千万円となっており、幡多6カ市町村での負担割合は、人口や宿泊施設収容人員などで算出したもの

Q 森 治史議員

まち・ひと・しごと創生事業費、これは新たにできた制



スポーツ合宿での練習の一コマ

度だが、この幡多広域観光協会の負担金は、どのような内容の事業を広域で取り組みをするためのものか。

A 武政 総務課長

幡多広域での誘客促進事業という位置付けで、事業名を四万十・足摺エリア誘客促進事業とし、事業費7千万円で幡多地域への観光客の誘客を広域的に取り組むもの。

主なメニューは、体験型旅行の商品開発やそのマーケティング活動、スポーツツーリズムの推進などで、黒潮町

ではとりわけスポーツ合宿等も含めて誘客を進めたい。交流人口の拡大を通じての地産

外消の拡大等で、地域の活性化も図る狙いで実施するもの。負担金割合は、財政事情等に

に応じての負担となっている。

■国民健康保険直診会計繰出

金 54万円

拳ノ川診療所の松村先生を紹介いただいた公益社団法人全国自治体病院協議会への人材紹介委託料

■地域づくり支援事業補助金

76万円

販路の拡大、新商品の開発などを目的に、土佐佐賀黒潮工房に業務用冷蔵庫、冷凍庫を導入するもの

Q 森 治史議員

これの事業内容は。

A 尾崎 海洋森林課長

佐賀地域の漁業者の方たちが、地元の水産加工品を作る

うと平成22年に組織した土佐佐賀黒潮工房が、現在活動している。

いろいろな水産加工品等を作り、東京三越などの取引や、イベント等でも出店している。

この事業で、昨年はフライヤー、今年度は水産物の製品を冷凍製造するための整備をしたい。



尾崎 海洋森林課長

■防災拠点建築物耐震事業補助金

138万円

当初計上した土佐ユートピアアカントリークラブを、防災拠点として耐震補強を行うもので、補助対象限度額の算定見直しにより追加するもの

■老朽住宅撤去事業交付金

58万円

Q 山崎 正男議員

これの内容は。

A 森田 まちづくり課長

本年度も老朽住宅の除去事業を5月に募集し、9件の申し込みがあり、現地調査等の結果、6件が交付対象になった。この内の5件は当初予算の範囲内で決定できたが、1件が不足したので、今回計上した。



土佐ユートピア C.C とホテルユートピア (右)